

「親の学習」プログラム

1-4

子供を育てるって？

— ロールプレイをしてみましょう —

あなたが親になった時の子育てについて、あなたはどんなイメージを持っていますか？子供とはどのように接したらよいのでしょうか。

ここでは、親の立場でのロールプレイをとおして、子供との接し方について考えてみましょう。

また、乳幼児期の子供に対する親やまわりの大人の接し方は、子供の人格形成にどのような影響を与える可能性があるのか考えてみましょう。

ワーク 1

子供への接し方を考え、役割を交代し合ってロールプレイをしましょう。

次のような時に、どのように子供と接したらよいですか。親や近所の大人の立場になって、態度・言葉かけなどを書き込みましょう。

また、ペアで、子供や大人（親）になってロールプレイをしましょう。

- ① 子供がおもちゃを買ってほしいとねだっている。

子：「ね～。あれほしいよ～。買ってよ～。」

大人（親）：



- ② 子供がお皿を割ってしまった。

子：「あっ！」

大人（親）：



- ③ 砂場で遊んでいた2人の子供が、スコップの取り合いを始めた。

A子：「わたしが使いたい。」

B男：「ぼくが使ってたんだ。」

大人（親）：



ワーク 2

ワーク1でロールプレイを実施した①～③の事例について
感じたことを発表しましょう。

・演技者や観察者として感じたこと

・友達の発表から考えたこと

ワーク 3

「親の態度が子供の性格に影響を与える可能性がある例」について学び
ましょう。また、ほかの接し方について、グループでロールプレイをし
て、望ましい接し方について考えましょう。

- ・次の4つの「親の態度」のうち、どの親の態度で行うかを定める。
- ・演技者（大人・子供）と、観察者の役割を決めて発表する。

親の態度が子供の性格に影響を与える可能性がある例

親の態度		子供の性格
支配的	→	服従・自発性なし・消極的
拒否的	→	反社会的・神経質・冷淡・落ち着きなし
服従的	→	乱暴・無責任・従順でない
過保護的	→	幼兒的・依存的・嫉妬心・神経質

宮城音弥「性格」岩波新書（昭和35年）より作成

ふりかえり

あなたが親になったら、乳幼児期の子供に対して、どのように接したら
よいと思いますか。ロールプレイをしたり、発表を見たり聞いたりして
、幼い子供の接し方について考えたことや、接する際に気をつけたいこ
とを書きましょう。

資料

親の立場で考えてみましょう。

子育てで悩んでいることは？

育児書とは違うことばかり。
どうしていいのかわからない…

しつけが難しい。
どこまできびしくしていいのか？



子供のことでいっぱい、自分
の時間がなくなってしまった。
ストレスがたまってしまう！

忙しいとどうしても怒ってしまう。
本当はとってもかわいいのに…

子育てで感動したことやうれしかったことは？

はじめて「パパ」と呼んでくれた
日は本当に感動したよ。

なんといってもあの笑顔。笑顔を
見れば何でも頑張ることができる。



元気に大きくなってくれること。
それだけでうれしいよ。

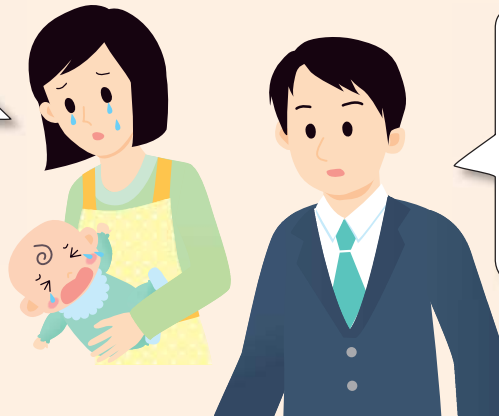
子供の成長とともに、自分自身も
成長していると実感したとき。

資料

親の立場になってロールプレイをしましょう
吹き出しにせりふを入れて演じましょう。

☆お父さんが帰宅すると、部屋の隅で、お母さんが赤ちゃんを抱いて泣いています。
一日中赤ちゃんが泣きやまず、どうしていいかわからないようです。

この子一日中泣いているの
何がいけないのかしら…
もう子育てに自信がなくな
っちゃった…



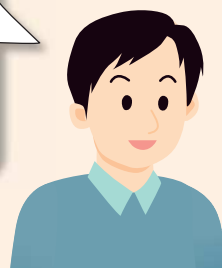
☆子供が描いた絵をもってお母さんのところにやってきました。
でも、お母さんは今とっても忙しい状況です。

おかあさん
みてみて…



☆日曜日の夕食の時間です。小学生の子はタブレットで動画視聴に、中学生の子はスマートフォンに夢中
です。久しぶりの家族の時間なので、子供たちといろいろな会話をしたいのですが・・・

学校はどうだい？



まあまあ



別にー

